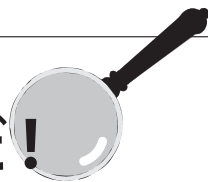


# 引用例はどこだ!



254号から始まったこの「引用例はどこだ!」ですが、  
まだまだ引用情報が追加されていく様子を楽しませてい  
ただいております。

情報提供をしてくださった方々、特技懇の記事を引用  
してくださった方々に感謝申し上げます。  
引き続き、情報提供お願いいたします。

情報提供連絡先 tokugikon-shi01@tokugikon.jp

引用された特技懇記事				特技懇記事を引用した他の記事					
執筆者	タイトル	掲載号	発行年	執筆者	タイトル	出版物名	巻、号、掲載頁	発行年	引用箇所
岡崎輝雄	特許統計データベースの課題 — OECD特許統計タスクフォース の取り組み—	250号	2008	小林義英、 他	特許の引用情報にみられる論文情 報の定量的分析のためのシステム 開発	情報処理学会 研究報告	1-7頁	2009	2頁(注1)
Yasuo Ohkuma Miyuki Sahashi Hui-Wen Hsueh Joe Brennan	Patent Trolls in the US, Japan, Taiwan and Europe (Digest)	244号	2007	財団法人知 的財産研究 所	産業の発達を阻害する可能性のある 権利行使への対応策に関する調 査研究報告書	平成20年度 特 許庁産業財産 権制度問題調 査研究報告書	1-300頁	2009	1頁(注4)
相田義明	「除くクレーム」の知財高裁大合 議部判決について	252号	2009	合路裕介	新たな技術的事項を導入しないこ とによる優先権の効果の取得	企業と発明	No.505 8-13頁	2009	13頁(末尾 参考情報)
阿部寛	シリーズ判決紹介—平成20年度 第1四半期の判決について—	251号	2008						13頁(末尾 参考情報)
中村洋	日本のバイオ業界におけるベン チャー企業の現状と課題 —海外におけるバイオベンチャー 企業の状況との比較を通じて—	234号	2004	Saiki Tomoko Takahashi Toru	Intellectual Property Management of Biotechnology Start-ups and Companies in Japan	I P S I B g D Transactions Advanced Research	Vol.5 No.1 12-16頁	2009	13頁(注7)
中田誠	韓国の知的財産事情	243号	2006	財団法人知 的財産研究 所	産業財産権に係る料金施策の在り 方に関する調査研究報告書	平成20年度特 許庁産業財産 権制度問題調 査研究報告書	1-117頁	2009	25頁(注3)
渡辺惺之	「民事及び商事に関する裁判管轄及 び外国判決に関する条約準備草案」 と国際的な知的財産権侵害訴訟	215号	2000	Kazufumi Yaji	A Study on the patent application strategy for China from the viewpoint of the patent application procedure and patent application conditions in China	Hitotsubashi journal of commerce and management	Vol.42 29-44頁	2008	44頁 (references)
篠原勝美	知財高裁から見た特許審査・審 判	239号	2005	Tomotaka Honma	COMPARING JAPANESE AND U.S. STANDARDS OF OBVIOUSNESS: PROVIDING MEANINGFUL GUIDANCE AFTER KSR	I D E A : T h e Intellectual Property Law Review	Vol.48, No.4 449-489頁	2008	453頁 (注25)
前川慎喜	国際知的財産保護フォーラム 国際的な知的財産の尊重を目指して	236号	2005	福田聡	外務省における知財関連の取組に ついて	特技懇	248号 46-60頁	2008	48頁(注8)
夏目健一郎	医薬品アクセス問題について	232号	2004	梅田幸秀	シリーズ判決紹介 —平成19年度第2四半期の判決から—	特技懇	248号 75-100頁	2008	52頁(注23)
深沢正志	シリーズ判例分析 いわゆる「容 易の容易」が問題となった事例	239号	2005						98頁(右欄)
福田聡	外務省における知財関連の取組について	248号	2008	夏目健一郎	知的財産を巡る多国間交渉 ～ジュネーブでの状況～	特技懇	250号 30-43頁	2008	34頁(注23)
夏目健一郎	医薬品アクセス問題について	232号	2004						34頁(注23)
郝慶芬 寺山啓進	中国特許制度のエッセンス	243号	2006	劉昕	日本特許実務から見る中国特許制 度及び実務	特技懇	248号 61-73頁	2008	63頁(注1,2)
妹尾堅一郎	知財マネジメントにおける先端 人材育成:「互学互修」を通じて 「先端領域の知」を創出する	235号	2004	妹尾堅一郎	実務家教員の必要性和その育成に ついて —「実務知基盤型教員」を 活用する大学教育へ—	広島大学高等教 育研究開発セン ター大学論集	第39集 109-128頁	2008	127頁 (妹尾堅一 郎(2004))
青木博通	ヨーロッパ意匠法から見た日本 の意匠法	232号	2004	財団法人知的 財産研究所 青木博通	意匠登録出願における「特徴記載 書」に関する調査研究報告書	平成19年度特 許庁産業財産 権制度問題調 査研究報告書	1-117頁	2008	112頁 (注11)
Michael W. Chinworth	The U.S. Innovation System: Leveraging Opportunities	238号	2005	株式会社 ニッポン テクニカル サービス	米国の技術移転市場に関する調査 研究報告書	平成18年度独 立行政法人工業所有 権情報・研修館請 負調査研究事業	1-289頁	2007	151頁 160頁
田村耕作	USPTOという組織	232号	2004	矢倉徹	特許事務所訪問報告	平成18年度技 術移転人材育成プ ログラム調査研究報 告書、参考資料編	175-192頁	2007	184頁 (注139)
服部智	審査実務の国際調和と米国 Written Description要件	236号	2005	矢倉徹	特許実務、米出国願における注意 事項	平成18年度技 術移転人材育 成プログラム 調査研究報告 書、参考資料 編	144-174頁	2007	169頁 (注121)
特許審査第 三部審査調 査室	遺伝子関連装置技術 —平成16年度特許出願技術動向 調査報告書より—	241号	2006						163頁 (注115)
田村明照	特許クレームの社会的インパ クトに関する一考察	205号	1999						161頁 (注105)

引用された特許記事				特許記事を引用した他の記事					
執筆者	タイトル	掲載号	発行年	執筆者	タイトル	出版物名	巻、号、掲載頁	発行年	引用箇所
渋谷善弘	欧州特許庁が目指すもの ～ミッションステートメントの実現に向けて～	232号	2004	山本英一 富士春奈	国際審査官協議～EPO滞在記～	特許懇	244号	2005	22頁(末尾参考文献上巻2004)
岡田吉美	サーチ・審査結果の相互利用について	231号	2004	杉山輝和	サーチ・審査結果の相互利用の本 格化に向けて	特許懇	244号 36-44頁	2007	36頁(注2) 39頁(注15)
渋谷善弘	欧州特許庁が目指すもの	232号	2004						
Yasuo Ohkuma、 他	Patent Trolls in the US, Japan, Taiwan and Europe (Digest)	244号	2007	南宏輔	進歩性/非自明性について ～KSR事件を契機とした非自明性 の議論及び特許の質の観点から～	特許懇	245号 48-61頁	2007	48頁(注7)
中田誠	韓国の知的財産事情	243号	2006	立命館大学	国際的な産学官連携を進める上で 問題となるアジア各国(中国・韓国 等)と日本との特許制度における相 違点に関する調査研究報告書	平成18年度「大学知 的財産本部整備事業」 21世紀型産学官連携 手法の構築に係るモ デルプログラム研究	1-138頁	2007	121頁 (参考文献)
有田克彦	知的財産訴訟費用保険について	190号	1997	山本哲生	規範的損害と保険 —知的財産権侵害に即して—	知的財産法政 策学研究	Vol.13 71-99頁	2006	71頁(注3) 71頁(注1)
石井康之	知的財産権をとりまくリスクと保険	190号	1997						
伊東博巳	知財信託を活用した大田区の地 域知財戦略	240号	2006	中山一郎	中小企業にとって知的財産権の意 義と課題	平成17年度信州 大学法科大学院地 域連携事業報告書	59-78頁	2006	78頁(注67)
水野恵雄	類似文献自動検索システムにつ いて	223号	2002	間瀬久雄	文書内の言語構造を利用した特許 文書分類・検索技術の研究	文書内の言語構造を 利用した特許文書分 類・検索技術の研究	1-114頁	2006	86頁(注64)
篠原勝美	知財高裁から見た特許審査・審 判	239号	2005	梅田幸秀	シリーズ判決紹介 —平成18年度第1四半期の判決から—	特許懇	243号 114-129頁	2006	123頁(右欄)
北村弘樹 遠山敬彦	米国特許法改正の動向について	238号	2005	深草祐一	平成17年度 制度・国際特別委員会 活動報告	特許懇	241号 82-85頁	2006	82頁(注1)
川濱昇	サイバー空間における知的財産 権と独占禁止法	215号	2001	田村善之	抽象化するバイオテクノロジーと特 許制度のあり方(3・完)	知的財産法政 策学研究	Vol.12 91-113頁	2006	99頁(注36)
大瀬戸豪志	西ドイツ意匠法について	153号	1990	青木博通	欧州共同体意匠規則	知的財産法政 策学研究	Vol.10 189-213頁	2006	198頁 (脚注26)
竹田稔	審査官・審判官に望むこと	233号	2004	中山時夫	企業の視点からの審査の質とス ピード	特許懇	237号 3-12頁	2005	12頁 (参考文献4)
竹田和彦	望まれる審査官・審判官 —バイオ・化学の分野から—	233号	2004						12頁 (参考文献5)
保倉行雄	企業が求める審査官像	233号	2004						12頁 (参考文献6)
岩田行剛 泉卓也 小川亮	望まれる審査官、あるべき審査官 ～清水初志氏インタビュー～	233号	2004						12頁 (参考文献7)
山口昭則	「世界最高水準の迅速・的確な特許審 査」を行う特許庁に向けて(—審査官 としての目で見えた過去、現在、将来)	235号	2004						12頁 (参考文献8)
福田聡	知的財産留学	229号	2003	野仲松男	ワシントン大学留学記 ～本では わからないことを経験しよう～	特許懇	239号 59-66頁	2005	59ページ (右欄)
下道晶久	特許協力条約(PCT)の発展と日本の施策	231号	2004	竹田和彦	望まれる審査官・審判官 —バイオ・化学の分野から—	特許懇	233号 22-29頁	2004	22頁(注2)
特許庁審判部	我が国における特許審判制度	224号	2002						25頁(注11)
田村明照	特許クレームの社会的インパク トに関する一考察	205号	1999						26頁(注17)
前川慎喜	米国特許商標庁における業務改革 —リエンジニアリング—の動き	205号	1999	田村耕作	USPTOという組織	特許懇	232号 98-111頁	2004	103頁 (注19) 108頁 (注45)
岡田吉美	サーチ・審査結果の相互利用について	231号	2004	福田聡	知的財産留学	特許懇	229号 46-62頁	2003	51頁(注15)
斎藤克也	ワシントン大学法科大学院滞在記 CAFC(米国巡回控訴裁判所)に滞在して	220号 206号	2001 1999						53頁(注18)
岡田吉美	三極特許庁の取り組み～世界特 許システムの観点から	216号	2001	土屋真理子	三極特許庁協力とハーモナイゼー ション	特許懇	228号 16-24頁	2003	20頁(注10)
渡辺惺之	「民事及び商事に関する裁判管轄及び 外国判決に関する条約準備草案」と 国際的な知的財産権侵害訴訟	215号	2000	坂下守	国境を越えた侵害と裁判	特許懇	220号 81-89頁	2001	81頁(注2)
特許庁技術 懇話会	「21世紀ビジョン」報告書	197号	1998	本間忠良	技術法のフロンティア ——ヤング報告書を越えて	特許ニュース	No.9886 1-7頁	1998	4頁(注15)
佐々木信夫	特許懇誌200号に寄せて 始動する創造サイクル	200号	1998						4頁(注22)
小澤誠次	米国立衛生研究所(NIH)の遺伝 子特許出願	171号	1993	玉井克哉	情報と財産権	ジュリスト	No.1043 74-83頁	1994	80頁(注38)
香本薫	〈特許実務〉特許法第30条について	70号	1976	中山信弘	工業所有権法(上)特許法[第2版]	工業所有権法 (上)特許法[第 2版]	[第2版]	1993	130頁(注5)
安藤元三	米国特許公報をもって、特許法30条 1項の適用を受けたい旨の日本での特 許出願があった場合の審査について	58号	1974						130頁(注5)
尾島明	ガット TRIP 交渉の概要	160号	1991	川島順	特許制度の最近の国際的な動き(特集: 特許戦争に打ち勝つための情報戦略)	情報の科学と 技術	Vol.43 No.8 712-720頁	1993	718頁 (脚注12)
斎藤恭一	フルテキストサーチの現状	161号	1992	大山勝弘	事例2: 特許(〈特集〉フルテキスト データベース)	情報の科学と 技術	Vol.42 No.6 535-541頁	1992	541頁 (末尾脚注2)